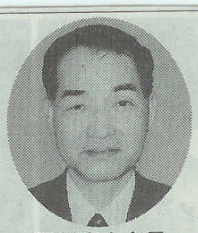
掲載記事

洗浄前の細菌検査で領域拡大

エアコン丸洗い協会

業務用空調の洗浄に本格参入



西村直人会長

ボランタリーチェーンとして独自のエアコン洗浄ビジネスを全国展開するエアコン丸洗い協会（会長＝西村直人氏、所在地・千葉県鎌ヶ谷市初富五四―一六）では、06年の活動方針の軸に事業領域の拡大を組み入れた。具体的には洗浄工程における前処理として行う空間汚染改善事業で「ESPOビジネス」と命名。ESPOとはEnvironment&SafetyProtection Organanizersの略で、同社と共同で事業に取り組むエスポ化学（千葉県花見川区）が発明、開発した各種の空気汚染浮遊物の改善製品をエアコン丸洗い協会のネットワークによって普及拡大し、洗浄ビジネスにおける付加価値を提供していくというものだ。

とくにオフィスビルなどの場合、職場環境の汚染状況を調査、検査し解決手段の提案と施工及び施行後のフォローをエアコン丸洗い協会とエスポ化学が役割分担のうえ連携して行っていく。役割分担については「営業」、「検査」、「施工」に分け営業担当は消費者ニーズを把握し、検査責任者及び施工責任者へ情報を伝達する。検査担当は対象の空調機器から検体を検査士、対策案を提示し施工後の効果を検査する。

また施工担当者は検査結果、対応策を把握した上で、作業仕様書、現場作業工程書を作成後、施工を行うという仕組み。主な対象は一般事務所などのオフィスビル、公共施設、ホテル、飲食店舗、船舶・鉄道。観光バス、自動車、家庭用エアコンなどと幅広い展開を想定している。

業務用、家庭用エアコンにおける検体検出は洗浄の前工程として吹き出し口から飛散する検体を培地に採取しコロニーを調べるというもの。特に居室内の落下菌についてサンプリングを行い分析。洗浄後にも同様の措置を行い、比較検討し、ユーザーへ情報をフィードバックしていく。

西村直人会長は「現在、完全事業化に向けて調査事業に取り組んでいる。認可がとれれば検査済みの〝三ツ星〟〝二ツ星〟といった称号を発行することも私案にあり、とくに厨房業界などへはアプローチを行っている。また採取し分析した結果はインターネットを通じて配信することで、拘わる人件費を圧縮し、本来のビジネスへの付加価値を高めていきたい」とし新ビジネスの提案、現場作業工程書の作成、施工を行うという仕組み。主な対象は一般事務所などのオフィスビル、公共施設、ホテル、飲食店舗、船舶・鉄道。観光バス、自動車、家庭用エアコンなどと幅広い展開を想定している。

業務用、家庭用エアコンにおける検体検出は洗浄の前工程として吹き出し口から飛散する検体を培地に採取しコロニーを調べるというもの。特に居室内の落下菌についてサンプリングを行い分析。洗浄後にも同様の措置を行い、比較検討し、ユーザーへ情報をフィードバックしていく。

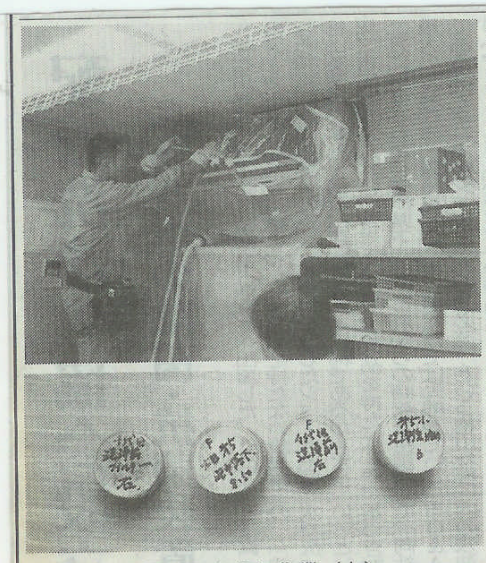
西村直人会長は「現在、完全事業化に向けて調査事業に取り組んでいる。認可がとれれば検査済みの〝三ツ星〟〝二ツ星〟といった称号を発行することも私案にあり、とくに厨房業界などへはアプローチを行っている。また採取し分析した結果はインターネットを通じて配信することで、拘わる人件費を圧縮し、本来のビジネスへの付加価値を高めていきたい」とし新ビジネスの提案、現場作業工程書の作成、施工を行うという仕組み。主な対象は一般事務所などのオフィスビル、公共施設、ホテル、飲食店舗、船舶・鉄道。観光バス、自動車、家庭用エアコンなどと幅広い展開を想定している。

業務用、家庭用エアコンにおける検体検出は洗浄の前工程として吹き出し口から飛散する検体を培地に採取しコロニーを調べるというもの。特に居室内の落下菌についてサンプリングを行い分析。洗浄後にも同様の措置を行い、比較検討し、ユーザーへ情報をフィードバックしていく。

西村直人会長は「現在、完全事業化に向けて調査事業に取り組んでいる。認可がとれれば検査済みの〝三ツ星〟〝二ツ星〟といった称号を発行することも私案にあり、とくに厨房業界などへはアプローチを行っている。また採取し分析した結果はインターネットを通じて配信することで、拘わる人件費を圧縮し、本来のビジネスへの付加価値を高めていきたい」とし新ビジネスの提案、現場作業工程書の作成、施工を行うという仕組み。主な対象は一般事務所などのオフィスビル、公共施設、ホテル、飲食店舗、船舶・鉄道。観光バス、自動車、家庭用エアコンなどと幅広い展開を想定している。

業務用、家庭用エアコンにおける検体検出は洗浄の前工程として吹き出し口から飛散する検体を培地に採取しコロニーを調べるというもの。特に居室内の落下菌についてサンプリングを行い分析。洗浄後にも同様の措置を行い、比較検討し、ユーザーへ情報をフィードバックしていく。

西村直人会長は「現在、完全事業化に向けて調査事業に取り組んでいる。認可がとれれば検査済みの〝三ツ星〟〝二ツ星〟といった称号を発行することも私案にあり、とくに厨房業界などへはアプローチを行っている。また採取し分析した結果はインターネットを通じて配信することで、拘わる人件費を圧縮し、本来のビジネスへの付加価値を高めていきたい」とし新ビジネス



エアコン丸洗い作業（上）
検体の採取（下）

の提案、現場作業工程書の作成、施工を行うという仕組み。主な対象は一般事務所などのオフィスビル、公共施設、ホテル、飲食店舗、船舶・鉄道。観光バス、自動車、家庭用エアコンなどと幅広い展開を想定している。

業務用、家庭用エアコンにおける検体検出は洗浄の前工程として吹き出し口から飛散する検体を培地に採取しコロニーを調べるというもの。特に居室内の落下菌についてサンプリングを行い分析。洗浄後にも同様の措置を行い、比較検討し、ユーザーへ情報をフィードバックしていく。

西村直人会長は「現在、完全事業化に向けて調査事業に取り組んでいる。認可がとれれば検査済みの〝三ツ星〟〝二ツ星〟といった称号を発行することも私案にあり、とくに厨房業界などへはアプローチを行っている。また採取し分析した結果はインターネットを通じて配信することで、拘わる人件費を圧縮し、本来のビジネスへの付加価値を高めていきたい」とし新ビジネス

ト還元と市場拡大への期待を膨らませる。先頃、エアコン丸洗い洗浄とともに分析を行った千葉県内の小学校三校では、室内機の汚れは酷く洗浄廃液も相当に汚れていた。空調機の能力は三割程度はダウンしていたものを推測され、このうち二校でカビ菌、バクテリアの観測を行ったところドレンパン、送風ファンにバクテリアの付着が大量に見られたとしている。

同協会の会員数は五十三社

て発足、昨年現協会名へ改組）から既に十三年が経過した。現在はガスボンベ使用でお湯を用いた「エアコンホット丸洗い」が好評で、わずか十分足らずでの洗浄を実現させる。「洗浄事業も新たなフェーズを迎えた」（西村会長）とし、よりビジネスメリットの高まる一日に十台単位でエアコン丸洗い事業を行うグループを全国に百ヶ所作るという「十台・百ヶ所運動」を展開中だ。

空調タイムス
THE AIR－CONDITIONING TIMES